

第46回 埼玉県ミニバスケットボール大会

(平成27年度 県民総合体育大会)

開催日	平成27年11月3日(祝・火)	開催場所	行田グリーンアリーナ
-----	-----------------	------	------------

試合区分	男子・女子 Aブロック決勝戦	開始時刻	14:45
------	----------------	------	-------

チーム名(淡色)

チーム名(濃色)

行田ラビッツ

幸松

(東・西・南・北・中)地区

(東・西・南・北・中)地区

45

10	1Q	15
13	2Q	10
8	3Q	11
14	4Q	10
	OT1	
	OT2	

46

【見出し】

冷静な試合運びの幸松 春の女王ラビッツを破る

【戦評】

第一クォーター、立ち上がりは両チームとも決勝戦の雰囲気にもまれた感じで、互いにゴールを決めることができない。重苦しい雰囲気を払拭するため、ラビッツは開始2分でタイムアウトを取る。その後、ラビッツは④、⑦がシュートを決め、幸松も④、⑩が入れ返し、好ゲームの様相になり、幸松が5点リードで終了。

第二クォーター ラビッツは高さのある⑦や⑥にボールを集め、反撃開始。一方、幸松は⑤や⑧が少ないチャンスを活かし得点をする。残り1分でラビッツの⑧がフリースローを2本決め、同点に。しかし、幸松⑥が終了間際にシュートを決め、幸松2点リードで前半終了。

第三クォーター 開始早々幸松⑥がシュートを決め、点差を広げるが、ラビッツも負けずに⑤、⑦がシュートを入れ、残り3分半で同点に。しかし、ここで幸松④がバスケットカウント。フリースローも確実に決め、逆転を許さない。残り1分を切り、ラビッツ⑩がシュートを決めるが、ここでも幸松⑧が終了間際にシュートを決め、幸松5点リードで最終クォーターを迎えることとなった。

第四クォーター これ以上点差を広げられたくないラビッツ。このまま逃げ切りを図りたい幸松。先に主導権を握ったのは幸松で、④が連続5得点を上げ、残り2分半で6点差に。ラビッツはタイムアウトを取り、最後まで追撃を試みる。ラビッツは⑥のシュートで追い上げる。残り1分を切って幸松5点のリード。ところが最後まであきらめないラビッツはタイトなディフェンスから⑧、⑩が連続得点し、1点差に。しかし、残り時間は3秒。ここで幸松ベンチは落ち着いてタイムアウトをとり、そのまま逃げ切った。

最後の最後まで勝利を目指し、頑張ったラビッツ。終始落ち着いた試合運びで逃げ切った幸松。決勝戦にふさわしい好ゲームであった。

記入者: 技術委員会 長谷川 眞裕(北部)

埼玉県ミニバスケットボール連盟